

【学校統合保護者アンケート】課題・不安要素

2025/6/30

金屋小学校	保内小学校	市教育委員会の考え方
・人数が多くなれば、目が行き届かなくなる	・少数の方が子どもをしっかり見れる	・県による統合後の加配、市では児童数規模に応じ、非常勤講師・介助員・SSSなどを引き続き配置していく
	・人数が増えれば、個々の出番が減り自主性・自立性の育成機会が減る	・グループ学習なども取り入れ、役割や発表の機会を取り入れる。
・学校独自の行事(青空教室)が無くなる ・金屋小が不利にならないように		・両校独自の行事・伝統等はできるだけ引き継がれるようにしていく（統合推進委員会で検討）
・子どもたちの意見を尊重したい	・これまで統合してきたところの意見	【第2次村上市立小・中学校望ましい教育環境整備計画方針】に掲載
	・統合後の先生方の配置	(職員数)R10統合後19人(単独だと保内小16人・金屋小 8人 ・これまでの統合もおおむね均等になるように配置されている。今後も要望していく
	・通学手段(2km)以内でも、熱中症など考慮してもらいたい	・スクールバスの運行ルートも含め再検討する
・そこまで規模ではない(複式学級になるタイミングで良い)		・金屋小学校の複式学級の可能性はR12であるが、荒川地域として1学年2学級を維持したいと考えている。
・統合後の学校の使い方		・各課とも連携しながら、利活用方法を検討していく。進展する時は地域へも説明に上がる。
・もう少し説明を聞きたい。		・説明会(検討会)、アンケート集計結果、進捗状況などを公表していく
金屋保育園	あらかわ保育園	
・小規模のメリットを活かしていけばよい ・少人数できめ細やかな学習。 ・複式が発生するR12は仕方ないと思うが10の統合には反対	・伝統が無くなる ・教職員の負担が多くなる。 ・きめ細かい指導が行き届かなくなる。	